



Child Needs Home

平成 30 年度 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)
年間報告書

教育支援事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔の為に

エイズ孤児や貧困家庭の子どもで人身売買のリスクが高い子どもを対象に学費の支援をしています。定期的に子どもの家庭訪問を行い、子どもの成績、家族の経済状況を調査し、継続的に子どもが学校に通える状況であるか（経済状況が悪化していないか）評価しています。



2013年の設立当初は、まだまだ幼い子ども達ばかりでしたが、6年経過し、大人になってきたなど感じる事がよくあります。子どもの家庭訪問の時、重い荷物を持っていると半分持ってくれたり、幼い子どもと話す時に、私のミャンマー語を理解して、空気を読んで、通訳をしてくれたりしてくれます。少しずつ大人になっていく子ども達をみて、微笑ましいかぎりです。この子どもたちが、学費の不安がなく、勉強に励むことができるのは、皆様のご支援のおかげです。親は死んでしまったけれど、日本の皆様のおかげで勉強を続けることができ、私の人生幸せだったと思ってもらえるように活動していきます。

貧困家庭では、教育支援だけでは人身売買に巻き込まれます。勉強できる環境を整えるために医療支援や食料支援、衣服の提供を行っています。

ミャンマーの学校の授業には体育はありませんが、マラソン大会はあり、靴を購入させて頂きました。マラソン大会の結果は100人中8位でした♪♪ありがとうございました。



運動しやすい好みの靴を選んでいきます

～心を育むプロジェクト～ 子どもたちと遠足でかけました。



みんなでお弁当を食べています。



バドミントンをしています



ミャンマーの教育カリキュラムには数学などの勉強を教えるだけで、音楽や体育の時間はありません。学校の行事で遠足などありません。子ども達の家庭は、わざわざバイクタクシーに乗って、川などの遠方でかける経済的余裕はありません。毎年、遠足を楽しみにしています。子どもたちは、バドミントンをしたり、おしゃべりしたりと楽しい時間を過ごすことができました。

職業訓練事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔の為に

就学を終えた子ども達が、人身売買に巻き込まれないように自立支援を行っています。

子どもたちが、なりたい職業につけるように、様々な訓練校と関係を作っています。職業訓練校と関係性強化を図ることで、教育支援を終えた子ども達がスムーズに職業訓練を受けられるようにしています。3校の学校を紹介します。

学校名: SUU VOCATUONAL



1 校目: SUU VOCATUONAL INSTITUTE 校

アウンサンスーチーさんの母親が運営している職業訓練校に訪問しました
英語、日本語、中国語、コンピューター、衣服の品質管理を教えている学校です。
昼食を提供してくれます。
訓練後、就職先を探してくれます。

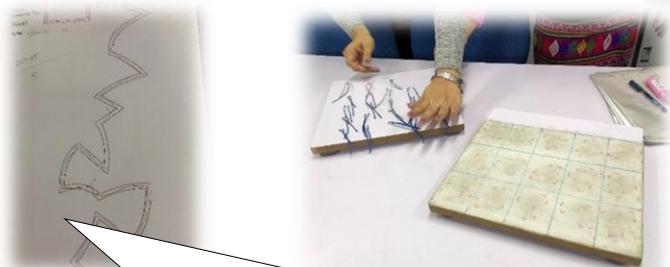
学校名 : AMH (aung myin hmu)



ミシンを修理しているところです



不当な扱いを受けないように労働法について授業を受けています。



訓練前に、どの分野の訓練が向いているかテストをします。この線に沿って、縫うそうです。

2校目 : AMH (aung myin hmu)校

検品や縫製の訓練、ミシンが故障した際に修理する訓練などがあります。

昼食を提供してくれます。

訓練後、就職先を探してくれます。



昼食時の様子

校長先生は「職業訓練を受けている間は、収入がないので、貧しい家庭の子どもは、収入を得たいがために、途中でやめる子どももいます」と話していました。本人や親に職業訓練の意味を理解してもらうことや、職業訓練を行っている時の家族の生活状況の把握がとても大切だと感じました。

学校名：Royal ABS



3校目：Royal ABS の日本語学校

N4（中級）、N5（初級）クラスの授業を見学させて頂きました。

特別に授業をさせていただきました。

「どこの出身ですか」など簡単な質問をさせていただきました。N4（中級）クラスの生徒は、しっかり答えてくれました。

民主化前は、ビザ代が高すぎて、ミャンマー人が日本に行くことは、難しい状況でした。外国人技能実習生の受け入れが増えていく中、ミャンマーを訪問すると日本語を勉強して日本で働きたいというミャンマー人がとても増えていることを実感します。テレビや新聞では、外国人技能実習生に対する悪い記事が流れることがありますが、ミャンマー人が日本を訪れた際、来てよかったと思ってもらえるような日本でいてほしいと思います。



日本語の教科書

学習支援後、職業訓練から自立へ



支援がなければ中学校さえ通うことが難しかった彼女ですが、高校に進学後、ご支援のおかげで美容師の道にすすむことができました。今は髪を触ることが好きだと話し、ストレートパーマの技術に挑戦したいと言っています。楽しく仕事に取り組んでいます。

給料をもらい、自立の道を歩むことができました。

彼女に対するご支援は終了となりました。ご支援ありがとうございました。

フェアトレード事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔を守りたい



幼稚園のバザーに出店



あすて国際協力フェスタに出店



豊田国際交流協会
世界塾に出店



豊田国際交流協会
国債の日に出店



アカ族の刺しゅうです。クロスステッチで作っています。

これもアカ族の伝統の縫物です。小さな布を1枚1枚縫って、素敵なデザインを作り上げています。



訪問した日は、アカ族のお祭りでした。
民族衣装を着た村人がたくさんいました。

様々な場所に出店させて頂きました。綺麗なアカ族の刺しゅうをたくさんの参加者に見て頂き、購入して頂きました。イベント参加者のからは、クロスステッチが細かく、華やかで美しいと好評を頂きました。ミャンマーの技術力をみなさんに褒めて頂きうれしいかぎりです。

国際理解事業

ミャンマーの子どもたちの笑顔を守りたい

講演活動や NGO 活動に関するイベントへの出展を行い、ミャンマーの現状について多くの人に知ってもらう活動を行っています。



愛知県の杏和高校の3年生 81 名を対象に講演を行いました

ひきこもりの方を支援する団体と、愛知県に住む外国人を支援する団体とともに活動報告をさせていただきました。

学生にどこの団体を応援したいか投票をして頂きました。

52 名の学生が Child Needs Home を応援したいと言って頂きました。ご寄付も頂くことができました。人身売買が世界で起きていることを初めて知った学生ばかりでした。

世界のことや社会のことに強い関心がなくても、学校に来ただけで、世の中のことを知ることができたり、社会のしくみを知ることができたりすることはとてもよいことだと感じました。



「豊田国際交流協会の世界塾」の一コマで、あいち国際理解ステーションと共に「あなたがもし、ミャンマーの農村部の子どもだったら？」という題材をテーマに児童労働について、ワークショップを行いました。参加者からは、「ワークショップ形式だったため自分のことのように考えることができよかった」「自分の生活が当たり前ではないことを知り、これからは世界に目を向けて生活していきたい」とご意見を頂きました。

平成 30 年度 収支計算書

	平成 30 年度決算書	平成 29 年度決算書
I 経常収入の部		
1 会費収入	60,000	75,000
2 事業収入	876,300	832,350
3 寄付金収入	257,008	700,481
4 助成金等収入	300,000	0
5 その他収入	4	2
当期経常収入合計	1,493,312	1,607,833
II 経常支出の部		
1 事業費	852,630	768,039
1)教育支援 事業	524,173	691,611
2)保健教育事業	718	2,025
3)職業訓練事業	299,578	11,151
4)フェアトレード事業費	13,523	54,928
5)国際理解事業費	14,638	8,324
2 管理費	138,566	116,796
1)給料手当	0	0
2)会議費	1,106	0
3)旅費交通費	15,720	40,680
4)通信費	16,287	15,576
5)ホームページ管理費	9,051	9,051
6)運搬費	13,941	17,013
7)消耗品費	0	0
8)印刷代	5,264	12,628
9)印刷製本費	0	0
10)文房具	108	864
11)雑費	12,316	3,726
12)備品	64,773	17,258
3 予備費	0	0
1)予備費	0	0
当期経常支出合計	991,196	884,835
当期経営収支差額	502,116	722,998
III その他資金収入の部	0	0
その他の資金収入合計	0	0
IV その他資金支出の部	0	0
その他の資金支出合計	0	0
当期収支差額	502,116	722,998
前期繰越収支差額	1,273,092	550,094
次期繰越収支差額	1,775,208	1,273,092

活動の支援の方法

【皆様のご厚意の下、アジアの子どもたちに教育を届ける活動に励んでまいります。】

支援方法は、①会員制度 ②チャイルドスポンサー制度 ③マンスリーサポーター制度 ④寄付の4種類があります。

①会員制度

□正会員 5000 円 □学生会員 3000 円 (主に管理費などに充てられます)

②チャイルドスポンサー制度

・寄付金額 (子ども一人当たり/月々) □3000 円 □4000 円 □5000 円
(支援金は対象の子どもの学費に充てられます)

③マンスリーサポーター制度

・一口 月額 1000 円からのご支援

(貧困家庭では、学費の支援だけでは人身売買に巻き込まれます。勉強ができる環境を整えるために支援金は主に医療費や養育費に充てられます。)

④寄付

★会員や寄付はこちらの口座にお振込み宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行からのお振込み

振込先「郵便振替口座」口座番号 00870-3-110656

加入者名:Child Needs Home

ゆうちょ銀行以外からのお振込み

振込先「郵便振替座」預金種目:当座

口座番号:0110656

店名(店番):〇八九(ゼロハチキュウ)店089

加入者名:Child Needs Home



★チャイルドスポンサー制度、マンスリーサポーター制度にお申し込みの方は事務所にご連絡ください。

お問い合わせ: Child Needs Home

TEL: 070-5031-4728 Email: childneedshome@gmail.com

URL: <http://www.childneedshome.jp/>



Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育支援、自立支援を行う団体です

あなたの力で子どもたちの道は開けます